

ウォーターセル株式会社との業務提携について

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、営農支援ツール「アグリノート」の開発・運営を行うウォーターセル株式会社（代表取締役社長 渡辺 拓也）と業務提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。

「アグリノート」は、航空写真をベースにした圃場マップに日々の生産記録等を紐づけられるサービスで、スタッフ間の情報共有をサポートすることで農作業や圃場管理の効率化を可能とする営農支援ツールです。全国の利用組織数は2023年7月末時点で19,000先を超え、多くの農業者の方々に利用されています。

なお、本サービスの普及を目指し、同社と提携した金融機関は当行が全国で初となります。

当行は、今後も地域金融機関として経営の効率化や発展に努める農業者の皆さまを積極的に支援するとともに、地域経済の活性化を後押ししてまいります。

記

1 背景・目的

社会全体でDXの取組みが進められているなか、農業現場においても担い手の高齢化や労働力不足などを背景にDXの取組み推進が急務となっています。

農業現場では依然として経験と勘に頼った営農が少なからず行われており、技術の継承に時間が費やされ、新たな担い手確保が難航しているほか、農業を取り巻く様々な情報がアナログでつながりがなく、農産物の販売促進等に活かされていない状況にあります。

当行は、ウォーターセル株式会社と提携し、「アグリノート」の普及を目指すことで、営農記録のデジタル化とその活用によるデータ駆動型農業への転換を促進し、農業者の皆さまの経営効率化や新たな収益機会の創出などを支援いたします。

2 提供サービスの内容

サービス 内 容	アグリノート
	○ 航空写真を使った圃場マップを作成して農作業内容を記録し、パソコンやスマートフォン等で共有可能となる。
	○ 収穫可能日の表示や農薬の成分別使用回数の自動集計も可能で、農薬適正使用による付加価値向上などにつながる。
	アグリノート米市場
	○ アグリノート利用登録先が使用できる玄米のオンライン売買マーケット
	○ 生産者と米卸・実需者による玄米の売買取引が可能となり、時間や場所を問わず簡単にアクセスできるため、買い手探しの手間を軽減できるほか、事前契約による経営安定化につながる。

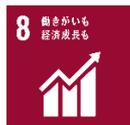
3 ウォーターセル株式会社について

ウォーターセル株式会社は、生産者に対して有益な情報のプラットフォームを構築し、営農情報のデータ化、共有、連携で農業界の課題を解決する企業です。生産者向け営農支援ツール「アグリノート」、自治体・企業・農業協同組合向け営農情報集約ツール「アグリノートマネージャー」、生産者と米卸や実需をつなぐ「アグリノート米市場」などのサービスを軸に、農業分野の多くの企業と連携し、農業界の課題に対するソリューションを提供しています。

さらに現在は、脱炭素社会における持続可能な農業づくりへの貢献を目指し、温室効果ガス・生物多様性の可視化やカーボンクレジットの普及促進にも挑戦しています。

会 社 名	ウォーターセル株式会社
本社所在地	新潟県新潟市中央区笹口 2-13-11 笹口 I・Hビル
代 表 者	代表取締役社長 渡辺 拓也
設 立	2011年7月14日
事 業 内 容	農業情報プラットフォーム／営農支援システム「アグリノート」の開発・運営
W e b	https://water-cell.jp/

(以 上)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。